

中村じゅんや 議員だより

連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内
 <TEL> 055-997-1336 <E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp
 <FAX> 055-997-5745 <URL> https://www.jn-susono-web.com



2022年10月から2年間の議長任期を無事終えることができました！

3期目の議員生活は、裾野市議会議長という大役拜命でスタートしました。大切にしたのは「何のために活動しているか」「本当の課題はどこにあるのか」ということを、現場の意見交換を通じて共有し広げることでした。議会で言うと、それまで年1回だった市民意見交換を積極的に行い、課題解消への活動を定着させること（裏面紹介）。各種団体の皆様とは、来賓等で呼んで頂いた際の情報交換や、市政での位置付けと特に力添え頂きたい点を挨拶で話したりすることを意識し、もう一度あり方を振り返って頂くこと。

「議員や議会と意見を交わした所で何が変わるのか」「地区の要望すら通せない」・・・といった評価を頂くことも多くありましたが、おそらくそれは議会が持つ機能を議員も市民も十分に、あるいは更に、使いこなすことができずにいることの表れなのだろうと思います。

議員は遣ってこそ価値がある。議員は遣われてこそ価値がある。そのための仕組みを「意見交換&政策討論」で始動しております。

片付けて→
引き継ぎ



9月議会で議員の注目が集まった議案（補正予算）をのぞいてみましょう

①水泳場跡地を多世代交流可能な賑わい公園に。

水泳場跡地は草だらけの立ち入り禁止区域となっておりますが、隣接するせせらぎ児童公園と繋げ、交流の場として整備し活用することとなりました。街中(!?)に公園が少ないと言われていますが、跡地全体に芝を敷き、児童公園としてはもちろん、イベント会場としても活用できるよう準備していきます。せっかくなので、一緒に作りませんか？ 来年2月下旬を目処に、この新エリアへの芝張りイベントが企画されます。裾野ライオンズクラブ様のご提案。「一緒に芝を張って、みんなで使おう！」ご協力をお願いします！



予算：3,000万円（内1千万円→渡辺工業様の寄付）

②学校の「音楽室と理科室」にエアコン設置設計

連日続く猛暑が災害級だとも言われる昨今。普通の教室にはエアコンが設置されたものの、特別教室には無いため、教室で歌うなど工夫せざるを得ない状況です。防音教室をしっかりと使ってもらうために、窓を閉め切っても快適に実験できるようにと、稼働率の高い2室にエアコンを設置することにしました。来夏に間に合うよう、2月までに設計を終わらせて、年度内に工事の補正予算を計上する予定です。



全ての小中学校が一番に求めたのが特別教室へのエアコン設置だったという市PTA連合会のアンケート結果。その要望が身を結び、9月定例会中に追加議案として提出されたものでした。予算：900万円（設計費）
（統合される向田小以外の全13校）

③新東名高速道路のスマートインターチェンジ（賛成10、反対8で可決）

昨年度事業だった、新東名高速道路に裾野から直接乗り入れられるスマートインターチェンジの設置可能性調査。9月定例会には可能性有りとなされた部分に対して「設置した場合、どの位の利用が見込めるのか交通量等を調査したい」として1,950万円の補正予算が提示されました。

この議案は今回賛否が分かれました。発端は「調査結果報告が遅い。委員会のみで説明。時間が不十分」と言う状況からでした。新聞にも掲載されていましたが可能性があるのは3箇所とのこと。その内1箇所はトンネルから1km以上離れた場所ですが、2箇所は加速減速距離(500m)を確保できる特例設置を元にした場所だそうです。その3箇所には、地理的に片側車線にしか設置できない部分（ハーフ）もあるとのこと。それぞれに市内道路からどのように繋げるかというパターンを調べた所、14パターン提示されたそうです。設置場所によって設置必要経費も得られる主たる効果も異なります。裾野市としての狙いはどこに置くか、市の予算規模に対して可能な場所はどこか、それぞれの絞り込みのタイミングが賛否の争点でした。今後は、①前回と今回の調査結果をもとに、②絞り込みし、③国やNEXCOと協議開始、④市民会議等実施
⑤費用対効果の検証を行い、⑥設計等に着手、、、となっていきます。おおよそ10年はかかる事業です。

Point① 市民が議会を動かすための入口を身近に >>> 課題や対策案をみんなで共有

【具体的に取り入れた仕組み】

- 分野別調査として委員会主導で各種団体と意見交換会を実施
就任直後に、各委員会が所管する市内団体を議長と委員長とで廻り、団体合会の計画に議員との意見交換の機会をお願いした所、多くのご理解を頂き、それぞれに課題などを共有させて頂きました。
- 地域別調査として地区議員団を設置、地域団体と意見交換会を実施
地区議員団に代表幹事を設け、区長連合会を介して地域団体の方々に取り組みを展開頂きました。区長会、民生委員児童委員協議会、婦人会、PTA、保護者会などの課題や要望を共有しました。



→→ 明確な解決策がある時は、すぐ要望書を市に提出

- 例) 富岡：学校再編説明会への全部局出席の要望書
- 東：交差点への信号機設置・歩車分離の要望書



Point② 政策研究会を組織して、課題の整理と対策案を検討 >>> 意見交換会の情報を活動に繋げる

【具体的に取り入れた方法】

- ア) 意見交換で収集した課題を、市役所部局と共有する勉強会を実施
例) 地域移行する部活動を地域生涯学習で対応する仕組みづくり
不登校対策のふれあい教室と図書館事業との連携施策
児童生徒の学ぶ場所に合った支援体制づくり



- イ) 課題を行政視察や研修会などのテーマにして、解決策等を研究深掘り

- 例) 単独議員研修会 (名古屋大学加藤教授) 地域にあった公共交通施策
- 〃 (静岡県職員3名) 観光需要と土地利用、教職員配置の方向性
- 学校現場確認 不登校対策として設置した配慮スペース(SSR)の状況



Point③ 議員全員が課題を共有し、解決のための意見書・提言書を立案 >>> 議会活動の実績

- 政策討論会に部会方式を採用して、議員全員が課題を分担して現地調査など行い、対策案を作り上げる。最終的に全体で集約し、議会としての政策立案としました。
(条例や規則などの改正に繋がるとなお良い)
例) 公共交通の担い手と多様な移動手段の確保・育成のための政策提言
→①担い手部会 ②移動手段部会 …… 提言書提出9/30



- 委員会単位で団体等とのヒアリング結果から対策をまとめあげた後、全員で共有。それぞれ議員の知見を生かして、制度等の必要な見直しを洗い出し意見書としました。



- 例) 概要：親との面会を阻害しない離婚後の共同親権制度に対する意見書
学びの充実を実現する教職員の配置要件緩和を求める意見書
放課後デイサービスを日中も利用できる制度改定への意見書



実績(2年間)：国県等への意見書4件、市への要望書2件、提言書5件

(基となった各種意見交換会：分野別12件、地域別18件)ありがとうございました！

品質管理のための課題分析や対策立の方法であるQC手法は、工場勤務などでは日常的に活用しているためみんなが慣れ親しんだものだと思っていましたが、携わった事のない方の場合、その問題の課題はどこにあるのか、どんな対策が有効なのかを、調査・選定する方法を知らず、整理が難しい場合があるようです。世の中に様々な方法がありますが、まずは市民の声に基づき、議員や議会がその解決に向けて動き始めるという仕組みの一步を実践した機会となったと思います。(市民から)いろいろ言われて大変という方もいらっしゃいましたが、「必要とされている証」であり、議員冥利に尽きると感じ始めていると思います。必要とされる議会に近づけるよう今後も仕掛けていきたいと思います。

みなさん！もっと議員を遣って仕組みを動かしていきましょう！



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。